

私たちのまち

まるがめ

～みんなで考えよう ふるさと丸亀のまちづくり～

自治基本条例・総合計画

中学生向け概要版



もくじ

丸亀市のまちづくりって？	1
丸亀市自治基本条例にはどんなことが書いてあるの？	2
まちづくりの主役はみなさんです	3
いろいろなまちづくり	4
みんなの想いを届けよう	6
丸亀市ってこんなまち	7

丸亀市のまちづくりって？

社会環境や生活スタイルの変化の中で、地域が抱える問題はさまざまです。こういった問題をひとつひとつ解決しながら、自分たちの住むまちを良くしようとするのを「まちづくり」といいます。丸亀市では、まちづくりの基本的なルール「丸亀市自治基本条例」にもとづいて、市民と市が一緒になってまちづくりを進めています。

みなさんも丸亀市のまちづくりについて考えてみませんか？



「自治」ってなあに？



京極くん よく「自治」って言葉を聞くけど、どういう意味でござるか？

うちっ娘 「自治」とは「自分たちのことを自分たちで決めておこなう」ことを言うの。たとえば、家族旅行の行き先を家族で決めたり、運動会でのクラスの応援方法をクラスのみんなで考えたりすることも「自治」のひとつなのよ。

京極くん じゃあ、ぼくたちのまち、「丸亀市の自治」っていうのも、丸亀市のことは丸亀市で決めるということではござるか？

うちっ娘 そうね。もっと詳しく言うなら、「丸亀市のまちづくりは、丸亀市で生活するみんな考えながら進めていく」ということよ。

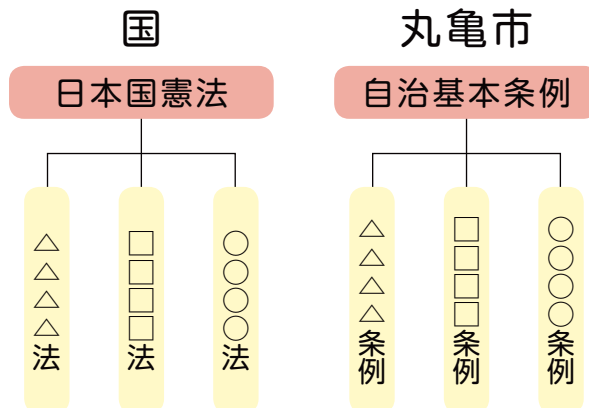
京極くん でも、ぼくたちがまちづくりのことを考えると、まず、どう参加したらいいかわからないでござるよ。

うちっ娘 そこで、みんながまちづくりに参加するためのルールとして、丸亀市自治基本条例が定められているのよ。



自治基本条例は丸亀市の「憲法」

まちづくりにはいろいろなルールがあって、大切なことは市の条例で決められています。自治基本条例はその条例の中でも一番上に位置づけられており、国でいう「憲法」にあたります。



丸亀市自治基本条例には どんなことが書いてあるの？

— 丸亀市自治基本条例 前文 ※ —

丸亀市は、讃岐平野の中央に位置し、飯野山、土器川とその周りに広がる田園は、讃岐の山並みへと続き、穏やかな瀬戸内海には島々が点在しております。温暖な気候風土は、産業を振興させ、人々の暮らしを豊かにし、まちを発展させるとともに、丸亀城を始めとする歴史遺産や伝統、文化を育んできました。

私たち丸亀市民は、ふるさに深い愛着を抱いており、先人たちが守り続けてきた、豊かな自然や育まれた産業、培われてきた歴史や伝統、文化を受け継ぎ、次世代に引き継いでいかなければなりません。

私たちは、これからの地方分権時代における多様で個性豊かな地域社会を形成していくために、主権者である市民一人ひとりが主体となって、役割を分担し、自らの責任を果たし、協力しなければなりません。私たちは、お互いに個人として尊重されるとともに、自らの意思と責任に基づいて主体的に行動することを自治の基本理念として定め、安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

ここに私たちは、地方自治の本旨に基づき、丸亀市における自治の基本理念を共有し、自治の更なる進展のために自治基本条例を制定します。

基本原則

- ①市民と市は、一人ひとりの人権を尊重すること
- ②市民と市は、お互いに行政活動などに関する情報を共有し合うこと
- ③市民は、まちづくりに参画^{さんかく}する機会が保障されること
- ④市民と市は、協働^{きょうどう}してまちづくりを行うこと
- ⑤市民の自治活動は自主性を基本とし、尊重^{そんちよう}されること

※前文…条例本文の前に置かれた文章。条例のねらいや考え方を伝えています。

※参画…市の意思決定の過程にかかわること。

※協働…市民と市が、それぞれの責任と役割分担にもとづき、お互いの特性を尊重しながら、対等な立場で協力しあうこと。

基本原則にもとづいた大切な取り組み

コミュニティ活動 と 市民公益活動

●コミュニティ活動 おおむね小学校区単位で組織されたコミュニティで行われる特色ある地域活動。

●市民公益活動 社会的な課題・ニーズに対応するための地域の枠を越えた市民活動。

市はこれら活動の役割や自主性を尊重しながら、適切な支援を行わなければなりません。

情報の共有

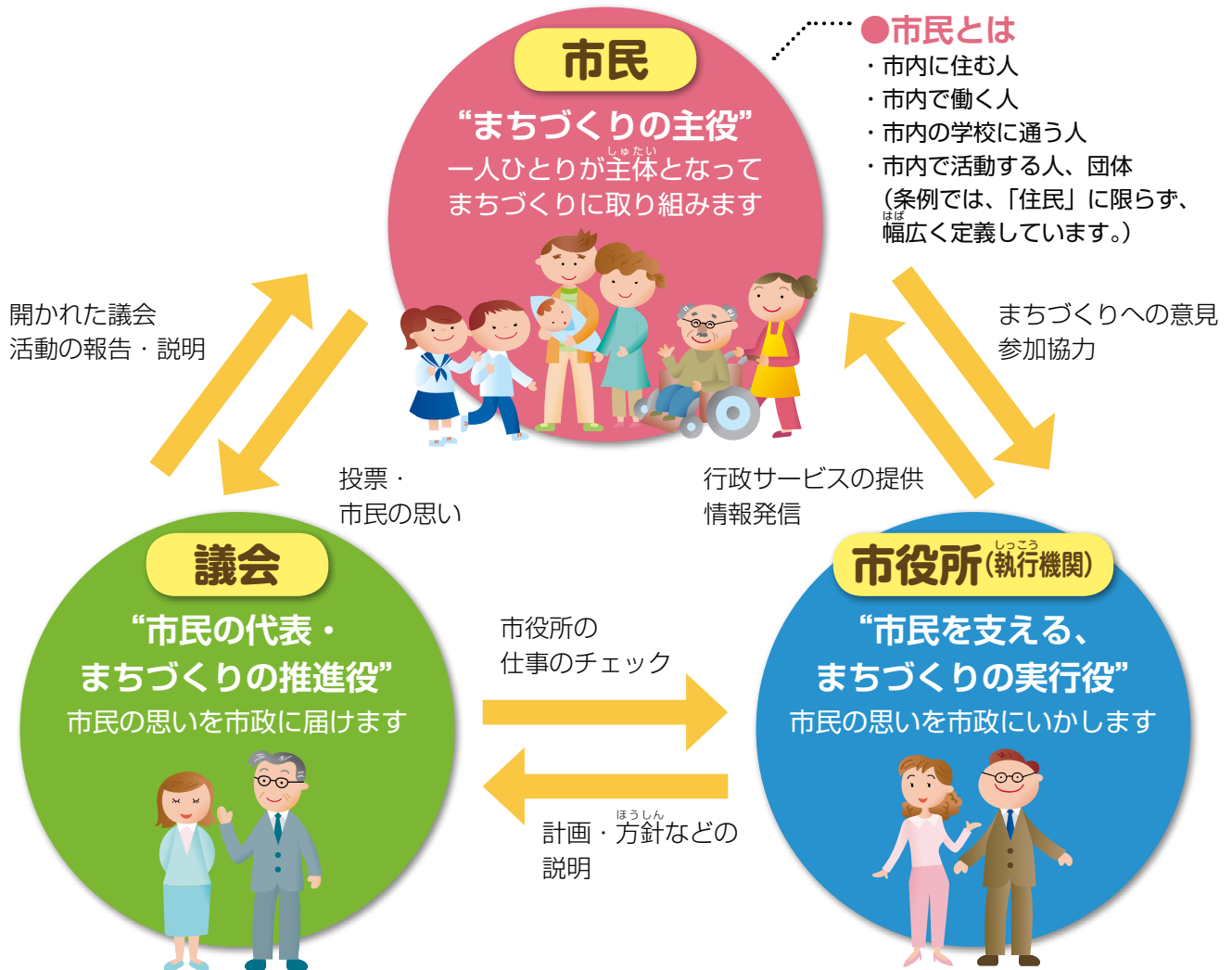
市は行政の情報をわかりやすく公開し、市民との情報共有に努めなければなりません。そのために、市の広報紙やホームページなどが活用されています。

参画と協働

市民は、行政のいろいろな活動に参画^{さんかく}することができます。そして、市民と市はお互いに理解を深め、信頼し、協力しあいながら、まちづくりを進めるよう努めなければなりません。

まちづくりの主役は みなさんです

役割を分担し、共に考え、行動するまちづくり



みんなの思いをまちづくりに生かそう

大切な丸亀城を守り、今のまち並みの良さを残して欲しいな。

子どもたちを安心して育てられるといいわ。

そのために私たちにできることは…

広報紙やホームページを見る

コミュニティ活動やボランティア活動に参加する

アンケート、パブリックコメント[※]や審議会[※]で意見を言う

※パブリックコメント…市の計画や条例などを決める際に、広く市民のみなさんの意見を聞いて、まちづくりに生かそうとする仕組み。意見の募集は広報やホームページなどで行っています。

※審議会…市民や専門家の意見をまちづくりに反映させるため、法令や条例によって設置された市の附属機関。

いろいろなまちづくり

「まちづくり」にはいろんな参加の方法や形がありますが、ここではそのほんの一例をとりあげています。みなさんの周りでもどんなものがあるか探してみましょう。

コミュニティ活動

コミュニティは、心ふれあうまちづくりを進めるため、地域に暮らすすべての住民と自治会や婦人会、老人会などの各種団体をひとつのまとまりとして組織されたものです。その活動は、地域の防犯や防災、福祉活動など、まちづくりの主体として重要な役割を持っています。



▲コミュニティのまつり



▲万引き防止キャンペーン

また、子どもたちが安全安心な環境で教育を受けられる、より良い学習環境を整備するため、学校施設の改築や耐震化を進めています。学校施設は災害時の避難場所としても利用されるため、とても大切な役割を担っています。

防犯・防災

「防犯」とは、大切ないのちや財産を犯罪から守ることです。不審者対策のほか、万引き防止や自転車盗難の防止など、防犯意識啓発活動を地域の方や警察と市が一緒になって行っています。市では、市民の防犯意識を高められるよう、広報活動や情報提供なども行っています。



▲小中学校等の耐震化

子育て・教育

核家族化が進む中で、地域ぐるみの子育て支援が必要とされており、地域子育て支援センターやつどいの広場は、お父さんやお母さんの交流・情報交換の場として活用されています。また、子育てについて、手伝ってほしい人・手伝いたい人が会員となって助け合うファミリー・サポート・センター事業なども行われています。



▲地域子育て支援センターでの活動



▲小中合同リーダー研修会

市では、小学校から中学校までの9年間を通じて、「一人の人間の成長」という視点で責任を持って指導を行うため、小中一貫教育を実施しています。また、学校給食を生きた教材ととらえ、地域でとれた農林水産物を地域で消費する「地産地消」を推進し、食文化を子どもたちに伝える取り組みを進めています。

まつり・交流



▲婆娑羅ダンス「風起」

また、多くの市民が国際的な交流を経験できるよう、国際交流協会などとの連携のもと、姉妹都市のサンセバスティアン市（スペイン）や友好都市の張家港市（中国）への市内の中学生の派遣や訪問団の受け入れなど、国際的な友好関係を深めています。

※婆娑羅…「自由きままに」「過去にとらわれない新しい気風」という意味をもつ言葉。

丸亀市には、お城まつり・綾歌ふるさとまつりなど、さまざまな祭りがあります。夏には丸亀城周辺から丸亀駅にかけて「まるがめ婆娑羅※まつり」が開催され、大勢の若者達が自由な曲で好きなように踊る婆娑羅ダンス「風起」には、毎年、県内外からたくさんの参加があります。



▲サンセバスティアン市での記念撮影

環境・みどり

地球温暖化などの環境問題を考えるうえで、市民一人ひとりの取り組みは大切です。家庭や学校などでも見られる「緑のカーテン運動」は、アサガオやゴーヤなど、窓の外に茂らせた植物のカーテンで夏の強い日差しをさえぎることで室温の上昇を抑え、冷房の使用を控えることなどで、省エネにつながります。



▲緑のカーテン（市役所）



▲市民ひろば花植栽協働事業

市民ひろばなどの公共性の高い場所では、花の植え付けや水やり、管理について市民ボランティアや企業と市が協働で取り組んでいます。市では、人も緑も豊かに育つまちづくりを進めるため、緑に関わるボランティア活動に参加しやすい環境づくりや情報提供などに取り組んでいます。

みんなの想いを届けよう



ミニ議会

市内の小中学校の児童・生徒の代表による「ミニ議会」が市議会の本会議場で開催されています。

ミニ議会では、児童・生徒たちがミニ議員となって「誰もが住みたくなる ふるさと丸亀にするためにはどんなことが必要か」「まちづくりのこんなことを疑問に思っている」など、自分たちの考えを発表し、市長や教育長などがそれに対して答えます。



丸亀中学生未来会議

平成23年8月25日 市内7つの中学校の生徒が、自分たちの住むまち 丸亀市を将来どのようなまちにしていきたいかを考える「丸亀中学生未来会議」が開かれました。会議は、テーマについての意見を自由に出し合い、互いの意見を尊重しながらまとめていく「ワークショップ」という形で行い、丸亀の将来像について、「全国に誇れるものがたくさんある平和都市」「人と自然が共生し、歴史と文化を受け継ぐまち」など、グループごとの意見を発表しました。

- テーマ1：まちの伸ばすべきところ、変えたいところ
- テーマ2：やるべきこと、将来像



丸亀市ってこんなまち

位置・面積・人口

丸亀市は、香川県の海岸線側のほぼ中央部に位置し、市の陸地部の中央に標高422メートルの飯野山（別名、讃岐富士）がそびえ、その北に青ノ山、中心には土器川が流れ、多数のため池が水辺空間を創出しています。そして、瀬戸内海には本島、広島、手島、小手島、牛島などの島々が点在しています。

面積は111.80平方キロ、人口は約11万人で、中讃地域の^{ちゅうかくてき}中核的な都市として重要な役割を担っています。

観光・文化財



▲丸亀城



▲笠島のまち並



▲太助灯籠



▲快天山古墳



▲飯野山

特産品・名物



▲丸亀うちわ



▲菊



▲はっさく

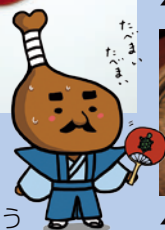


▲骨付き鳥



▲桃

とり奉行▶
骨付じゅうじゅう



丸亀市役所 企画財政部政策課

TEL 0877-24-8839 E-mail seisaku-k@city.marugame.lg.jp